

紫波医報

令和 7 年 7 月号

No. 2 4 8



一般社団法人紫波郡医師会

● URL: <https://shiwa-med.jp/>

● E-mail : ishikai@shiwa-med.jp

● TEL: 019-611-2211 ● FAX: 019-611-2216

◇ 巻頭言「感謝と期待」	…	加藤 博巳 先生	2
◇ 令和 7 年度紫波郡医師会定例総会	…		3
◇ 定例理事会報告	…		4
◇ 紫波郡医師会・紫波郡歯科医師会合同懇親会	…		5
◇ 講演会・研修会・表彰	…		6
◇ 診療紹介「めまい相談医の診療について」	…	石川 健 先生	7
◇ エッセイ「思い出いろいろ」	…	加藤 博巳 先生	9
◇ 紫波郡地域包括ケア推進支援センターから	…	伊藤 信一 所長	11
◇ 新入会員紹介	…	木村 尚人 先生	13
◇	…	小林 正和 先生	13
◇ 会員の異動	…		13
◇ 事務局よりお知らせ（MAMIS 関連）	…		13
◇ 編集後記	…	早坂 朗 先生	14
◇ いわて医師協同組合広告	…		

◇表紙のことば

写真：涼風に誘われて /撮影日 2025 年 7 月 13 日

毎年 7 月下旬、ニッコウキスゲを目当てに夏の八幡平に向かいます。

毎年同じ時期に同じ花が同じように咲くわけではなく、年によって、大当たりだったり、大外れだったり、それも楽しみの一つです。

今年は、どうやらニッコウキスゲには早く、白いコバイケイソウの時期に来たようです。

それも良き良き。青空を映す沼と沢山の花、標高 1,613m 涼やかな風が吹いています。

紫波郡医師会会長付参事 伊藤 信一
(紫波郡地域包括ケア推進支援センター所長)



「感謝と期待」

紫波郡医師会 会長 加藤 博己

毎日猛暑が続いています。空梅雨の為いつの間にか梅雨明けになっていました。温暖化が原因かな？その原因は化石燃料の使いすぎかな？と思いますが、現在の生活様式はなかなか変えることができません。

特にエアコンディショナー(以後エアコンと略します)は必須となっています。十年位前まではエアコン無しでもなんとかなると思っていましたが、現在は頼らざるを得なくなっています。患者さんの中にはエアコンを昔のクーラーと同じ物と思い、スイッチを入れると冷房になると勘違いをして、暖房になっている場合が少なからずあるようです。診療中に「気をつけてね。」と時々声をかけています。

この度、釜谷 敏先生がご当選なさいました(医療系でトップ当選でした)。皆様のご協力やご支援に感謝を申し上げます。自民党への逆風が強いなか、全国では日本医師会の松本会長が、岩手県では本間会長が陣頭指揮をおとりになり、医師会をあげての努力が実ったものと思います。大変喜ばし

いことです。医療行政は法的根拠をもって行われます。法律の整備は国会での議論の上なされます。その為には現在の医療の状況をよく理解し、的確な将来への展望をお持ちの方が適任です。釜谷先生、自見先生におかれましては充分にお力を発揮されることをご期待申し上げます。

今回の選挙は、SNS の情報が大きく影響を与えたと言われています。その情報の内容もかなり偏ったものが多かったようです。国際的にも国粹主義的、保護貿易的風潮が強くなっているようです。医療の現場でも、患者さんが SNS の情報を妄信している場合が多くなった様に思われます。発信者の利益に誘導する内容も多いようです。

私は常々患者さんに「分からないことや不安なことがあったら聞いてください。」と声をかけています。以前、私のことを大変信用していると仰ってくださいました方がいます。

でも……一番に信用しているのは「みのもんたさん」でした。

◇ 令和 7 年度紫波郡医師会定例総会

日時：令和 7 年 5 月 26 日（月）19：00～20：00

場所：ケアセンター南昌 5 階 南昌ホール

会員総数：79 名

出席会員数：58 名（内委任状 23 名）



【進行】理事 松尾 力先生

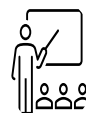
1. 開会挨拶 副会長 野崎 有一先生
2. 会長挨拶 会長 加藤 博巳先生
3. 令和 6 年度表彰受賞者及び新入会員の紹介
4. 出席者及び委任状の確認 理事 早坂 朗先生
5. 議長及び議事録署名人の選出 理事 田中 健太郎先生（執行部一任）
議長 小原 進先生、議事録署名人 加藤 博巳先生及び箱崎 誠司先生
6. 報告事項
 - (1) 令和 6 年度事業報告及び令和 7 年度事業計画について 理事 佐藤 義浩先生
 - (2) 令和 7 年度収支予算について 理事 箱崎 誠司先生
7. 議 事

議案第 1 号 令和 7 年度収支決算について 理事 関 英政先生 監事 藤島 幹彦先生/直島 淳太先生

議案第 2 号 小児科休日救急当番医広域化について 会長 加藤 博巳先生

議案第 3 号 物価高騰対策支援金に係る諸規定の改定について 副会長 野崎 有一先生

- 8. 紫波郡地域包括ケア推進支援センター事業報告 会長付参事 伊藤 信一 氏
- 9. 保険診療に係る留意点について 保健担当理事 加藤 博巳先生



◇ 定例理事会報告（協議事項一部抜粋）

第10回協議事項（1/20）

- (1) 令和7年度医師会・歯科医師会新年交賀会の開催は、インフルエンザ蔓延期を除き今後検討。
- (2) 南昌みらい高校学校医について、田代敦先生を推薦。他に健診医として関英政先生を推薦。
- (3) 带状疱疹予防接種は、4月より65歳から5歳刻みの定期接種へ移行。50歳以上は1年の猶予。

第11回協議事項（2/17）

- (1) 令和7年度岩手県立南昌みらい高等学校産業医に堀江圭先生を推薦。
- (2) 紫波町・矢巾町要保護児童対策地域協議会委員に武藤秀和先生・田中健太郎先生を推薦。
- (3) 賃金・物価上昇下における診療所経営調査(2023・2024年10月～12月)の回答協力の依頼。
- (4) 西北医師会「認知症ステップアップ研修会」の後援の承諾。
- (5) 7月参議院選かまやちさとし氏サポーター名簿提出状況及び今後の活動について
- (6) 開業時負担金（入会金）の引き下げに伴う諸規定の変更について
- (7) 会員の退会（2/3ご逝去 齊藤純先生）について
- (8) 紫波町・矢巾町予防接種（5種混合・フルミスト）に係るワクチン使用期限の徹底について

第12回協議事項（3/17）

- (1) 大船渡市の大規模火災に係る岩手県医師会JMATの活動について
- (2) 矢巾町国民健康保険運営協議会委員に藤島幹彦先生の後任として堀江圭先生を推薦。
- (3) 矢巾町生きいきまちづくり委員会委員に木村宗孝先生を推薦。
- (4) 矢巾町予防接種健康被害調査委員に伊東宗行先生の後任として田中健太郎先生を推薦。
- (5) 矢巾町産後ケア事業（国の事業）の広域化について
- (6) 風しん5期予防接種終了に伴い抗体検査陰性の方のみ2年間接種延長することについて
- (7) 矢巾町暮らしのガイドブック2025公告掲載について
- (8) 会員の異動について 退会：小林めぐみ先生、入会：小林正和先生
- (9) 令和6年度紫波郡医師会決算・令和7年度予算について

第1回協議事項（4/21）

- (1) 盛岡圏域小児科休日救急当番医の広域化について（総会議案）
- (2) 紫波郡医師会入会金（開業時負担金）及び弔慰金の減額について（総会議案）
- (3) 岩手県県央保健所運営協議会委員に加藤博巳先生（会長職）を推薦。
- (4) 岩手紫波管内合同老人ホーム入所判定委員に中島先生の後任として太田聡先生を推薦。
- (5) 岩手県医師会総会における表彰に7名の先生を推薦。
- (6) 紫波町いのち支える自殺対策協議会委員に伴亨先生を推薦。
- (7) 紫波町元気はつらつ委員会委員に直島淳太先生を推薦。
- (8) 紫波町教育支援委員会（旧就学支援委員会）委員に伴亨先生及び伊東宗行先生を推薦。
- (9) 教育委員会学校健診における岩手県統一の校務支援システム運用に係る様式変更について
- (10) 矢巾町指定医（介護保険）に小原進先生を推薦。
- (11) 紫波郡医師会定例総会議長候補者の選出について

第2回協議事項（5/19）

- (1) 盛岡圏域難病対策協議会委員の推薦について、野崎有一先生を継続して推薦。
- (2) 岩手県医師信用組合総代について、加藤博巳先生、城戸正美先生、遠藤直樹先生を推薦。
- (3) 5/26定例総会役割分担について
- (4) 定例総会資料「高コレステロール血症」と「高脂血症」の保険点数について
- (5) 7/18紫波郡医師会・歯科医師会合同懇親会について
- (6) 紫波医報7月号執筆依頼について

第3回協議事項（6/16）

- (1) 岩手県医師会総会（7/13）における表彰受賞者〔役員表彰〕・〔地域医療表彰〕について
- (2) 矢巾町ロードレース大会（10/5）医師派遣として堀江圭先生を推薦。
- (3) 産業医等の募集（R8年度紫波地域診療センターの後任）について
- (4) 医師会・歯科医師会合同懇親会について
- (5) 事務局の物価高騰対策賃上げ支援金の申請について
- (6) 諸規定の改正について

◇ 紫波郡医師会・紫波郡歯科医師会合同懇親会

7/18 (金) れすとらん文化 2 階大広間 19:00

参加 56 名

来賓：紫波町 13 名、矢巾町 14 名 医師会：17 名 歯科医師会：12 名

新型コロナウイルス感染症により自粛生活を余儀なくされていたことから、慣例となっておりました新年交賀会については、令和 2 年を最後に開催を控えておりました。

この度、5 年振りに再開の目途が立ち検討いたしましたところ、昨年末のインフルエンザ等の蔓延を鑑み、時期を早め、さらに、地元開催として合同懇親会の席を設けさせていただきました。

お暑い中、ご参集いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



〈紫波町長 熊谷様〉



〈矢巾町長 高橋様〉



〈加藤会長（医）〉



〈六本木会長（歯）〉

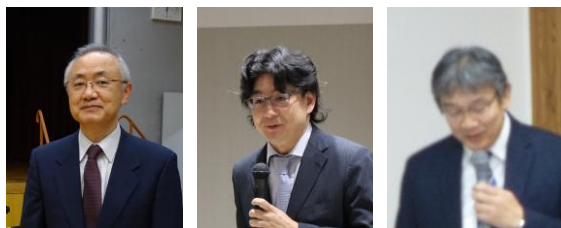


◇ 講演会・研修会

6/25 (水) 紫波郡医師会学術講演会

やはぱーく/ハイブリット 19:00 参加 15 名

座長 野崎内科・神経内科医院 院長 野崎 有一 先生



演題 1 「地域における医療連携多職種連携のとりくみ」

講師：南昌病院 院長 木村 尚人 先生

**演題 2 「これからのアルツハイマー病治療の展開
～レカネマブを用いた医療連携の展望～」**

講師：盛岡赤十字病院 脳神経内科 米澤 久司 先生

7/11 (金) 紫波郡医療介護連携入退院支援・連携研修会 ケアセンター南昌 5 階ホール 14:00 参加 59 名

テーマ：「身寄りがいない人の入退院支援と地域連携」

講師：岩手県医療ソーシャルワーカー 会長 小泉 進 氏
(盛岡赤十字病院総合患者支援センター/社会福祉士)



◇ 表彰

5/18 (日) 岩手県医師会親睦ゴルフ大会

メイプルカントリークラブ 7:30 会員



「ベストグロス賞」

紫波郡医師会 早坂 朗先生

4/26 (土) 矢巾町合併 70 周年記念町勢功労表彰

矢巾町文化会館

(田園ホール)

10:00



「町勢功労表彰 (学校医)」

紫波郡医師会 南 吉昇先生



「めまい相談医の診療について」



いしかわ耳鼻咽喉科

めまいクリニック 石川 健

令和4年4月に南 吉昇先生から「南耳鼻咽喉科クリニック」を承継し、「いしかわ耳鼻咽喉科めまいクリニック」として開業し、4年目になります。診療所の名前に「めまい」を入れたのは、私がめまいを専門としているためです。もともと医師になって2年目の平成2年に平衡神経学会（現在はめまい平衡医学会）に入会し、何度か平衡神経学会で研究発表をしていました。その後めまい平衡医学会が「めまい相談医」の資格制度を導入したのに伴い、平成24年に岩手県で初めてめまい相談医の認定を受けました。めまい相談医となってからはめまいの患者さんが来院することが特に多くなり、矢巾町での開業を機にクリニックの名称にめまいを入れることにしました。医師であれば、めまいを耳鼻咽喉科医が診療することに違和感はないと思いますが、一般の患者さんの中にはまだ耳鼻科医がめまいの診療をすることを認知していない方がいますので、一目でわかるようにしました。

一口にめまいと言っても、様々な患者さんがいます。良性発作性頭位眩暈症、メニエール病、前庭神経炎などの

末梢前庭性のいわゆる「耳のめまい」の患者さんだけではなく、その関連としての前庭性片頭痛や持続性知覚性姿勢誘発めまい、また耳以外の原因としてパニック障害などの心因性めまい、起立性調節障害、貧血、甲状腺機能低下症などの患者さんも受診します。さらには、薬剤の副作用によるめまい（最近多い薬剤としてプレガバリン、ミロガバリン）もあります。当院ではまず詳細に問診することを心がけています（めまいの専門の先生方は誰しも問診の重要性を強調されます）。そして眼振の観察も詳細に行います。自発眼振、注視眼振、頭位眼振検査だけではなく、Dix-Hallpike法（頭位変換眼振検査の方法の一つで後半規管を刺激する検査）を含む頭位変換眼振検査も行います。その後、聴覚の検査、場合によっては血液検査や起立試験（シェロンテスト）も行って総合的に診断します。

ここで、私自身が良性発作性頭位眩暈症になった経験をご紹介します。それは、令和6年2月のある土曜日のことでした。いつものように朝6時に目が覚めて起き上がった瞬間にぐるぐる回るめまいを感じま

した。そのまま座ってじっとしていたところ、数秒でめまいは治まりました。

立ち上がって普段通りに動いてみましたが、頭を動かすとふわふわする感じがします。その後、出勤して診療をしていた時に勢いよく大きく頭を動かした途端に不意にまた回転性のめまいが起きました。思わず倒れそうになりましたが、何とか倒れずに踏ん張りました。この時に良性発作性頭位めまい症だと確信しました。そのまま診療を続けていましたが、その後も2回ほど頭を大きく動かした時に回転性のめまいがありました。診療を終えて職員がみんな帰った後に、徐に自分で頭位変換眼振検査をしました。初めに座位から仰臥位になった時に回転性のめまいを感じました。そのまま仰臥位で右下頭位、左下頭位と左右に頭位変換した時には、めまいは起こりませんでした。懸垂頭位での左右下頭位変換でもめまいはありませんでした。懸垂頭位から起き上がった時には回転性めまいを感じたので、後半規管に耳石が入っていることは間違いありません。一呼吸置いて Dix-Hallpike 法をしました。まずは頭部を左に捻転して左 Dix-Hallpike をしましたが、めまいは起こりませんでした。

次いで右 Dix-Hallpike をすると座位から懸垂頭位になった時、懸垂頭位から座位になった時にいずれも回転性のめまいが起きました。どちらも数秒間持続して治まりました。自分では眼振を確認することができませんでしたが、方向交代性の回旋性眼振が誘発されて発現していたと思います。右後半規管型良性発作性頭位めまい症です。そのまま自ら右 Epley 法（半規管に入った耳石を耳石器に戻す頭位治療）をしました。なるべくゆっくり頭を動かして耳石が確実に戻るようにしました。頭位治療を終えて立ち上がった後もふわふわする感じがしばらく続いたので、少し不安でしたが、幸いなことに頭位変換時の回転性めまいは止まりました。ふわふわする感じは翌日までありましたが、その後は感じなくなりました。

このように、良性発作性頭位眩暈症の患者さんには頭位治療（後半規管型には Epley 法、外側半規管型半規管結石症には Lempert 法）を行っています。その他のめまいについても疾患に応じた診療を行っています。めまいでお困りの患者さんがいらっしゃいましたならば、ぜひ当院にご紹介ください。



◇エッセイ

「思い出いろいろ」

加藤胃腸科内科医院 加藤 博巳

【山の向こうに】

私の医院(生家)より西側を望むと壁のように山々が連なっています。南から新山、稲荷山、東根山、南昌山、赤林山、箱ヶ森山です。

子供の頃からこの山々に沈む夕日をよく眺めていました。冬至には新山に、夏至には南昌山に沈みます。南昌山に沈む夕日を見ながら「明日から日が短くなるのか。」と思ったものです。

夕暮れ時の景色にも色々あり、空全体が燃えるように紅く染まったり、仏様が住む世界が有るかのようには神々しく光に包まれたりします。そしていつも「この山の向こうには何があるのだろう。」と漠然と考えたりしていました。



【山の見回り】

私の祖父は主に農林業を営んでおり田植えや稲刈り、畑仕事の他に山の見回り等のお手伝いをしました。山の見回りは家から往復約 20km の道のりを大きな籠を背負って歩きました。主に春の山菜や秋のきのこの時期でした。

山に入ると道らしい道もなく、時には藪をかき分けて進みました。尾根を超える時には眺望が開け、遠くの山並みを見ては「どこの山だろうか。」と想いを馳せたものです。

祖父は運動神経が良く、素手で雉やマムシ、岩魚、山女魚を捕まえること

ができました。子ども心にも「すごいなあ。」と感嘆しました。

山菜やきのこ、また熊などの動物の生態についても教えて下さいました。そのおかげで私は自然を楽しみながら山に入ることが趣味になりました。

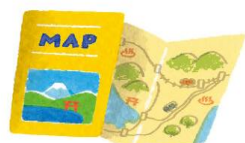


【搜索隊とサルノコシカケ】

その祖父が遭難騒ぎを起こしたことがあります。約 60 年前の事です。玉川温泉へ湯治に行き、サルノコシカケを採りに山へ入り夜になっても戻って来ませんでした。遭難したと大騒ぎとなり、搜索隊も出動しました。父が現場へ駆けつけたところ、搜索隊の隊長に山の稜線まで案内され「この先へ進んだ人で戻って来た人はいないので、可能性のある場所を探します。」との説明を受け覚悟を決めたそうです。その時祖父は誰も戻って来たことの無い山中をどんどん進み、ひと晩で約 50km を歩き、大館市郊外の交番へ辿り着き「今から帰る。」と電話をしてくれました。祖母が、大騒ぎとなって搜索隊を出している事を話すと「勿体ない。」と電話の向こうで叫んだそうです。でも残念なことに既にその当時で一千万円位の経費がかかっていたという記憶があります(私の貯金も無くなりました)。



祖父はしっかり大きなサルノコシカケを数個持ち帰ってきました。当時でもサルノコシカケは高価でしたが、本当に高価なものとなりました。その頃風邪をひくと、そのサルノコシカケの煎じ汁（大変苦い）かドクダミの煎じ汁または大根のおろし汁（生姜汁入り）の三択でした。風邪をひいても見つからない様に平気を装っていました。



【広がる世界】

私は地図を見るのも大好きで特に地形に興味があり、地図で行ってみたい場所を見つけると、道に関係なく山に入ったものです。厳しい藪こぎも多かったのですが目的の地形を見つけることが喜びでした。

藪から開けた所に出た際に驚愕の表情の登山者と遭遇したことが時々ありました。学生時代に法医学の講義で、黒ずくめの服装で首に手拭いを巻いて山で作業をしていた男性が熊と間違えられて銃で撃たれた事例があ

りました。私も地元猟友会に連絡され、撃たれるのは嫌なので首の手拭いを鉢巻きに変えました。

地図と出会う前の小学校低学年の私の世界は見える範囲内で大変狭いものでしたが、地図を見るようになり、色々な発見をしました。世界の中では日本はびっくりする位小さく、世界で一番高い山と思っていた富士山より高い山を無数に発見しました。大河だと思っていた北上川が世界水準では小川でした。

色々な資料統計を見るのも好きで、イギリスの舗装率が約 90%のデータにびっくりしました。当時、私の生家の前の国道 4 号線は、やっと舗装されたばかりでした。4 号線以外で舗装された道路はありませんでした。

行ってみたい場所、見てみたい地形等、沢山ありましたが、現状では来世に託します。



紫波郡地域包括ケア推進支援センターから

～ 紫波町・矢巾町共同設置 （愛称：れんけい紫波郡）～

紫波郡医師会の皆様には、当支援センターの事業推進にあたり多大なる御理解と御支援をいただいておりますことに御礼を申し上げます。

当支援センターでは、次に掲げる基本方針、7つの事業の取組方向により紫波郡内の地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んで参ります。

また、ひとり暮らし高齢者等の増加に対応するため、地域医療・介護「れんけい支援セット」のリーフレット及びチラシの院内配置についてご依頼したところ、多数ご協力を賜り感謝申し上げます。

お陰様で、短期間にもかかわらず、令和6年度は医療機関から303部（うち紫波郡医師会会員診療所155部）を配布することができました。皆さまのご協力に重ねて感謝申し上げます。今後とも、御指導、御支援のほどよろしくお願いいたします。

○ 基本方針

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携推進に取り組む。

○ 令和7年度（2025年度）事業の取組方向

1 地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療機関、介護事業者の所在地、連絡先、機能等の情報収集を行い、地域医療・介護資源情報（リスト、マップ）を更新し、医療・介護関係者、民生委員等に提供する。

2 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

紫波郡地域包括ケア推進協議会、地域ケア会議など地の在宅医療・介護に関わる多職種等が参画する会議や研修等意見交換の場等において、医療・介護連携に関する現状の把握と課題の抽出、課題解決に向けた対応策の検討を行う。

3 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組の企画・検討を行う。

・かかりつけ医とケアマネジャーの円滑な連携のための連絡方法の標準化、地域連携タイム・ケアマネタイム等の普及、ICT機器の活用を含む情報共有等の円滑化支援

4 在宅医療・介護連携に関する相談支援

地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う。

5 地域住民への普及啓発

地域での在宅医療・介護に関する地域住民向けの研修会や講演会等の開催、地域医療・介護資源マップ・パンフレットの作成・配布、ホームページへの掲載による情報提供等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。

・ACP研修会等の開催、「わたしの『生きる』ノート」（県医師会作成）の普及、「医療介護れんけい支援セット」の活用促進

6 医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めた情報共有ツールの整備や、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。

・病院（連携室等）と居宅介護支援事業所等との入退院時等の情報共有、ケアマネジャーとかかりつけ医との連携・情報共有等に使用する情報共有シートや緊急時等の医療機関受診時の情報提供シート（救急医療情報シート・連絡票等）、お薬手帳や診察券等をまとめて保管・携行する「医療介護れんけい支援セット」の活用・運用支援

7 医療・介護関係者の研修

日常の療養支援、入退院支援、急変時、看取りの4つの場面及び認知症に関する研修等を開催し、地域の医療・介護関係者の連携を推進する。特に、ACP研修については、地域住民への参加に配慮し、理解の促進を図る。

○ 在宅療養に関する多職種連携研修会等の開催（予定）

区 分	主な対象等	開催日時等
1 入退院等支援・連携研修 (1) 目的 入退院時の基本的な対応についての理解を深めるとともに、事例検討を通じて、独居高齢者や身寄りのない高齢者等の入退院に係る課題等の共有及び医療・介護双方に求められる取組を検討し円滑な入退院の促進に資する。 (2) 講師 岩手県医療ソーシャルワーカー協会会長 小泉 進 氏（盛岡赤十字病院 社会福祉士）	急性期病院・回復期病院のMSW、ケアマネ・訪問・相談支援等多職種 定員 40～60 人 集合研修	7月 11 日(金) 14 時～16 時 ケアセンター南昌 5階 南昌ホール 矢巾町又兵衛新田 5-335 （矢幅駅西口徒歩1分）
2 日常の療養支援に関する研修 (1) 目的 睡眠医学の観点から高齢期の睡眠の特性と診療・介護支援のあり方を学び、在宅医療や御家族の生活の質の向上と介護負担軽減を図るとともに、高齢者の睡眠に関する理解を促進することを目的とします。 (2) 講演 講師 岩手医科大学医学部睡眠医療学科 教授 西島 嗣生 先生 演題：日中を快適に過ごすための睡眠の取り方 ～睡眠障害の対処法～	医師等医療関係者、介護関係者等多職種 定員 100 人 （会場 50 人、Web50 人程度） ハイブリット研修	8月 27 日(水) 18 時 30 分～20 時 ケアセンター南昌 5階 南昌ホール
3 ACPに関する研修 (1) 目的 アドバンス・ケア・プランニングや意思決定支援について、住民や医療・介護関係者、民生委員等の理解を促進する。 (2) 講演 碧祥寺住職 太田 宣承 氏 演題「一人十色の死生観 -最後まで私らしく生きるにつなげるためには-」 (3) 生きるノートを書いてみよう	住民、医師等医療関係者、介護関係者、民生委員等多職種 定員 160 人 （会場 70 人、Web90 人程度） ハイブリット研修	9月 13 日(土) 14 時～16 時 ケアセンター南昌 5階 南昌ホール
4 急変時の対応に関する研修 在宅医療・介護「つながる事例検討会」 (1) 目的 独居高齢者や高齢者のみの世帯などの急変時の対応について、救急現場における現状や課題を共有し、急変時に速やかに対応できる在宅療養環境の確保を推進する。 (2) 講義 講師 盛岡地区広域消防組合消防本部警防課 救急係長 高橋 潤哉 氏 研修テーマ 「救急車の利用について理解を深める」	医療関係者、介護関係者等多職種 定員 30 人 集合研修	10月 16 日(木) 14 時～15 時 30 分 ケアセンター南昌 5階 南昌ホール
5 かかりつけ医等認知症対応力向上研修 (1) 目的 認知症への理解を深めるとともに、認知症者への対応等について、関係者の共通理解を促進する。	医療関係者、介護関係者等多職種 ハイブリット研修	11 月～12 月を予定

◇ 新入会員の紹介

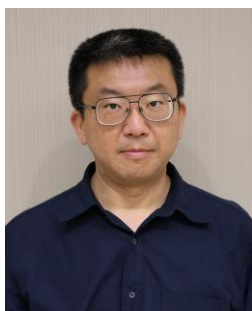
◇ 会員の異動



勤務先： 南昌病院
職 名： 院長
氏 名： 木村 尚人
入 会 日： 令和 6 年 8 月 1 日
出身大学： 秋田大学医学部
診 療 科： 脳神経外科
趣 味： トレッキング

20 年間、急性期病院で仕事をして参りましたが、このたび南昌病院へ戻って参りました。

地域の皆様の健康を維持するため粉骨砕身頑張る決意でございますので、医師会の皆様のご指導何卒よろしくお願い申し上げます。



勤務先： 南昌病院
職 名： 脳神経外科
氏 名： 小林 正和
入 会 日： 令和 7 年 4 月 1 日
出身大学： 岩手医科大学医学部
診 療 科： 脳神経外科
趣 味： 旅行、鉄道、野球観戦

これまで岩手医科大学で勤務医生活を送ってまいりました。新しい職場でも頑張ります。紫波郡医師会の先生方、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

届出日	内容	所属	氏名	摘要
R7.3.31	退会	宇都宮医療センター	小林 めぐみ	宇都宮医師会へ
R7.4.1	入会	南昌病院	小林 正和	岩手医科大学 医師会より
R7.5.1	更新	医療法人社団健幸会 いしかわ 耳鼻咽喉科めまいクリニック	石川 健	法人化

●事務局よりお知らせ

入退会・異動・更新の届出は、日本医師会会員情報サービス「MAMIS」のページから、個人で入力することになりました。日医未入会の方も同様です。

仮 ID：生年月日（西暦）、仮 PW：医籍登録番号で画面を開き、該当項目を入力してください。ID/PW は新しいものに更新されますので、メモをお取りください。

今後、準備ができ次第、産業医研修、生涯教育のポイントも MAMIS 上に付与されることとなります。まだ、アクセスしたことがない先生は、一度開いていただくようお願いいたします。ご不明な点は、事務局（TEL：019-611-2211）までお問い合わせください。

『梅雨なのに猛暑...』

6月とは思えない暑さが全国各地で続きました。6月下旬の段階では、記録的な早さで梅雨明けする見込みとなっており、雨があまり好きではない私としては、例え暑すぎたとしても雨が降るよりはいいかな？と嬉しくも思っていました。

しかし真夏のような暑さが長く続くと高気圧の縁を回って湿った空気も流れ込むため、湿度も高くなるようです。こんな早い時期の暑さに身体も慣れていないため、熱中症の危険度も上がります。この暑さの影響で農作物にも被害が出ているようです。じゃがいもが地中で腐ってしまったり、大根が割れてしまったり、カリフラワーやブロッコリーが腐食してしまったり。野菜も悲鳴をあげています！！自然を相手にすることに対しての大変さを感じます。

今年は「観測史上最も暑い夏」になる可能性もあるそうです。夏を乗り切るためには夏対策の体作りが重要です。軽い運動などで体を使って汗をかくこと、体のリズム（体内時計）を整えることが大事なようです。身体に気をつけながら、これから迫ってくるであろう猛暑本番に備えましょう！！

先生方の投稿（エッセイ・表紙の写真・絵画など何でも構いません）を随時お待ちしております。ご意見、ご要望がございましたら医師会事務局までお寄せください。

紫波中央眼科 早坂 朗



保養施設利用補助（一人一泊5,000円）を活用して

日頃の疲れを温泉で癒しませんか？



第1位
山の神温泉 優香苑

第2位
ホテル紫苑

第3位
花巻温泉 佳松園

2023年10月追加 “安比八幡平の食の宿 四季館彩冬”

福利厚生事業とは？ 祝金(出産・結婚・年祝)・弔慰金・見舞金・健康診断補助・保養施設/ゴルフ場利用補助 他
負担金：組合員4,000円/月 組合員の家族・従業員は一人につき800円/月

担当：川目

TEL.019-626-3880
FAX.019-626-3883



いわて医師協同組合

IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
〒020-0024 盛岡市菜園二丁目8番20号 岩手県医師会館内

万一の備えは
所得補償保険の月額

足りていますか？



医師の給与・報酬

+

従業員等の給与

+

その他費用※
地代家賃・機器リース等

必要な補償額

※その他費用は固定費(休診しても必要になる費用)が対象

簡単チェック♪

☐ここ数年見直していない ☐従業員が増えた ☐適正な月額が分からない

✓が付いたら、お気軽にご相談ください。 毎月5日〆切→翌月1日スタート

担当：鈴木・小原・目黒

TEL.019-626-5550
FAX.019-626-3883



いわて医師協同組合

IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
〒020-0024 盛岡市菜園二丁目8番20号 岩手県医師会館内

●発行 一般社団法人紫波郡医師会 発行責任者 加藤 博 巳
編集委員 早坂 朗
齊藤 恵

〒028-3614 紫波郡矢巾町大字又兵工新田第5地割335番地
TEL:019-611-2211 FAX:019-611-2216